

埼玉 労 山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙

発行：武笠真次

〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集：澤藤俊昭

<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>

<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

(7月・8月合併号)

目 次

- 1 p) 第44期定期総会報告
- 2 p) "、登山学校「計画から下山まで」講座
- 3 p) 救助隊総会報告、他
- 4 p) 加盟団体紹介、夏山情報
- 5 p) 投稿記録「カナダスカミッシュクライミング」
- 6 p) 理事会報告、お知らせ、他

ツユクサ



第44期定期総会終える！

三月二十九日に予定されていた埼玉県勤労者山岳連盟第四十四期定期総会が未曾有の東日本大震災と東京電力福島第一原発事故による影響で順延を余儀なくされてい

ましたが、ようやく六月十九日(日)、さいたま市高鼻コミュニティセンターに於いて開催され、無事終えることが出来ました。



尾手副理事長の司会のもと、始めに武笠理事長の挨拶では県連HPが皆さんの協力により立ち上がり、このHPや全国連盟ネット・マスメディアを積極的に拡充利用しながら会員拡大が出来た事、また東日本震災の支援活動においては義援金や物資支援、ボラン



テア活動へのお礼と、今後とも長期にわたる支援活動への協力とお願いが述べられました。またこの一年間全登山と事故防止活動や県連活動への協力に対する感謝とお礼、無事に総会を迎えられた喜びの気持ちを述べられました。

次に来賓として、東京都勤労者山岳連盟理事長の上平久治氏の挨拶では、昨年の都連盟の遭難事故の反省や関東ブロックでの救助隊活動報告とお礼、また東日本大震災の支援活動の報告と今後も関東ブロックとして支援を継続して行く必要性と互いに協力しあう事を確認する祝辞をいただきました。

次に、議長に小暮(北部)加藤(中部)書記に高草木(西部)八木原(南部)の代議員等を選出し、資格審査では五十八名の定数に対し、出席代議員三十四名、委任二名で総会が成立しているとの報告により、議事に入りました。



始めに「第四十三期活動報告」を武笠理事長から報告された後、各専門委員会と登山学校・救助隊活動がそれぞれを担当理事から報告されました。

主な活動報告では、組織拡大で現在二

十九団体 六一二名(四十二名)の会員数となり、登山学校やHP等が大きく寄与していると報告。また事故防止活動では安全登山講演会が七十一名もの参加で好評に終わった事、埼玉県連内での事故は残念ながら6件発生している事、個人会員加入制度では加盟団体で温度差があり、県連でも十分な討議がなされていないことから、全国連盟の動きを見ながら討議を深めていきたい等。...



続いて、「第四十四期活動方針案」が武笠理事長から提案され、昼食となりました。午後には議事を一時十五分より再開し各専門委員会の活動方針案の提案、各ブロック活動方針案、ならび「第四十三期会計決算報告と会計監査報告」、そして「第四十四期予算案」の提案が行われ、その後、質疑応答になりました。

県連として「とろろ昆布」の物品支援販売する旨の報告がなされ、すぐ注文用紙が配布される等の手際良さもあり、相当数購入予約をいただきました。



自然保護委員会では、今年「関東ブロック自然保護担当者交流集会」の主管である事もあり、県連各団体の協力のお願いがありました。

登山学校も第一六期が年間受講者二十一名でスタートし、継続した活動が県連の会員拡大に大きく貢献している実績をあげ、今後も積極的な活動をしていく事を方針に掲げ力強さを感じます。

ブロック活動方針では、各ブロックともに年間行事のクリーンハイクの他に、独自の交流山行を企画し、組織内交流に努力している様子がうかがえました。第四十三期決算報告と監査報告では、弱若の誤記を除き昨年と比較して決算で十三万円程改善されている旨の報告が監事からなされました。

第四十四期予算案では、関東ブロック自然保護担当者交流集会の主管である事から県連行事費を増額、ならびブロック活動費を増額した事を提案され、活動報告と方針案、決算と予算案についての質疑に入りました。活動報告と方針案の質疑では

要約すると①震災対応についての県連活動方針は？②個人会員制度について③新特別基金について④救助隊装備更新についての⑤足尾植樹祭についての質問が出され、震災対応についての活動方針については、各会の協力を得ながらも、別途具体的な支援活動と方針案を決定し提案して行く事。また、個人会員制度については、最終的には全国評議会で決定されるまでの各県連での討議が必要、埼玉県連としては急ぐ必要はないと思うが、十二月までに加盟団体の意見を纏めたい。新特別基金については飲酒によるケガの範囲・判断は？という質問でしたが、登山時報の記事を参考に、行動中の常識的な判断に基づき、加盟団体や県連の報告等で支給を決定し、むやみに山も規制するものではないとの意見でした。

足尾植樹についてのいくつかの意見や提案が述べられたが、基本的には主催者側に関する事項も多く、埼玉県連としても県内でこうした活動が出来ないか検討する方向で、今期は団体協力金支払い(会員申し込み)を思いとどまることに。...

質疑応答を終え、第四十三期活動報告と会計決算報告と監査報告、第四十四期活動方針案と予算案を一括で採決！賛成多数で可決、承認されました。



◎第44期 埼玉県勤労者山岳連盟

役員体制

- 理事長 武笠真次 (わらび山の会)
- 副理事長 徳重博文 (大宮勤労者山岳会)
- 〃 矢崎辰雄 (ハイキングクラブ上里)
- 〃 尾手利雪 (三郷山の会)
- 事務局長 木村哲也 (熊谷トレッキング同人)
- 会計 嶋田好枝 (新座山の会)
- 理事 天野二郎 (日進山岳会)
- 加納隆夫 (新座山の会)
- 久保典子 (新座山の会)
- 小松勝浩 (三郷山の会)
- 佐藤久子 (〃)
- 澤藤俊昭 (あすなる山岳会)
- 高橋利男 (富士見峠山の会)
- 長谷川貞子 (大宮勤労者山岳会)
- 若木由和 (上福岡山なみHC)
- 松本千代子 (所沢ハイク)
- 監事 杉江 勲 (新座山の会)
- 廣岡美恵子 (山遊会ピスターリ)

* 全国理事

- 井芹昌二・藤樹啓志 (登攀クラブ岩つばめ)
- 伊藤正勝 (わらび山の会) 大澤辰雄 (埜歩歩)

* 監事…小杉勝雄 (大宮勤労者山岳会)

* 委員…遭難対策・事故 (矢崎辰雄)

- ハイキング (佐藤久子)
- 遭難・救助 (今井雅文)



総会を終了しました。後には東京都勤労者山岳連盟理事長の上平氏

続いて、「規約改正案」第4章 役員(の14条の文言を訂正を理事長から提案され、可決。休憩をはさんで、第四十四期新役員選出では理事十六名(留任一五名、新任一名)と監事二名を選出、承認されました。役員挨拶では、六年間にわたり事務局長担当された木阪理事、そして岩ネット担当の軽部理事から退任の挨拶が述べられ、新役員挨拶では松本理事(所沢HC)、再任された武笠理事長から新役員全員の紹介と挨拶の後、無事に議事を終了。最後に東京都連 事務局長・元井康之様から挨拶をいただき議長を解任して第四十四期定期総会を閉会しました。

総会資料：追記 活動方針について

・埼玉労山震災支援活動

- (1) 加盟団体の協力を得て東日本大震災支援を行う。
- (2) 長期にわたる支援となるため、決して無理はしない。
- (3) 加盟団体から要請、提案を受け入れ、現地と連絡は原則として理事会が行う。連絡責任者：理事長、副理事長とする。但し、加盟団体が直接現地と調整する範囲はこの限りではない。
- (4) 被災地の特産物を販売し、現地を励ますと同時に支援活動資金とする。被災地での活動時に、関連情報を収集する。
- (5) 被災地の児童に本を送り、読み聞かせ、現地の児童とハイキングを行う。
- (6) 埼玉女性委員会が中心となり、支援Tシャツを販売要請、取りまとめを行う。

・個人会員制

埼玉労山としては当面、全国連盟の動向見ていく。当面個人会員制は行わない。

以上、総会議案に追加します。 理事長

や元井氏、新遭難基金全国会議を終えてかけつけた伊藤理事や徳重副理事長等も交えて懇親会を開催。退任された木阪・軽部さんに花束を贈るなど和やかに交流しました。(八木原・高草木 記録より)



6月12日(日)実技講習
栃木県・大平山 18名
担当運営委員の下、班別の行動となる。大平山下駅10時に出発して大中寺へ。地形図とコンパスの使い方を教わり「もう一度教えて、このように合わせるみたい」と方向確認しながら、大中寺に到着。準備体操をして、伊藤講師より本日の目的である山登りでの歩行、そして水分補給も忘れずにと注意がありました。
清水寺へは関東ふれあいの道を進む。清水寺で小休止、とに

6月11日(土)机上講習
講師 伊藤正勝(わらび)
登山、ハイキングに関する基本的な知識、技術について学ぶ。下山までの様々な出来事を想定して計画書(目的、立て方、書き方)・リーダーやメンバーの役割・日常での体力トレーニング・食料や装備、身につけるレイヤード(重ね着)、山登りの歩行・事故や遭難などの危機意識など、いかにして安全で快適な山行を行うことができるか、問われ考える機会でした。



第16期登山学校
第1回講座
「計画から下山まで」

- 6月11日…机上講座
カルタスホール
34名
- 6月12日…実技講座
栃木・大平山
34名

かく蒸し暑い！これから今日一番の急登が待っている。登山道に入ると徐々に傾斜がきつくなってくる。軸足に体重移動をして後ろ足をと念じて一連の動作にはなつてくれない。先頭でゆっくり歩いたが会話は出来なかった。流れる汗、後半には疲れてちょっと足が止まってしまう。あとで担当運営委員からもう少しゆっくりでも大丈夫ですよとアドバイスがありました。とにかく先へと思う気持ち：先頭はむずかしい。昼食後からは気持ちいい尾根道大平山へ、ハンググライダー飛行場所へ寄りたり茶店を横目で見ながら謙信平まで、下り歩行は滑らないように、学んだ歩き意識でしたが苔でツルツルときました！危ない！あぶない！山登りはきつくて苦しいこともあるが楽しく嬉しいことも多い。良く遊び、良く学べでこれからも頑張ろうと思っています。運営委員の皆様ありがとうございます。(三郷山の会 佐藤幸子 記)



埼玉労山救助隊

2011年度 総会報告

日 時 2011年6月27日 (月)
 場 所 浦和コミュニティーセンター 10階 7号屋
 出 席 新入隊2名を含め、16名の出席で総会が開催されました。
 1) 第1～4号議案は、すべて承認されました事をお伝え致します。
 ※・内容は総会資料といたします。
 2) 本年度、入隊2名・退隊6名、総員26名でスタート致します。
 ※加盟団体の皆様へ救助隊隊員を募集しています。
 3) 「救助活動」・「捜索活動」を円滑に進める組織作りを目指します。

2011年6月29日
 事務局長 若木 由和

沢での搬出・搬送訓練 (実技) のお知らせ

日 時 7月24日 (日) AM 8:00 集合 8:30 行動
 「前夜発可」
 場 所 大洞川流域・秩父湖 (埼玉大学寮) 付近
 大洞林道、大洞ダム集合
 訓練場所 市ノ沢、小滝の連続場所
 装 備 個人装備、沢でのセルフレスキュー一式
 共同装備、救助隊で準備します。
 食 事 各自で用意
 ※・参加予定者・14名
 事務局長 若木由和

2011年度 活動方針

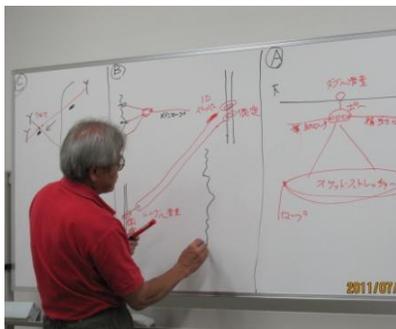
- ①年間捜索救助技術訓練を実施し基本的技術を習得し、スムーズな連携の救助捜索へ繋げる活動。
- ②実際の出勤は無い事を願っているが、「いざ出勤」のシミュレーションは常時準備し考えておく。
- ③登山ネットワーク (岩・沢・雪山・山スキー) へのコーチングスタッフの参加派遣していく活動。
- ④遭難防止・安全教育委員会と協力し、「事故情報の提供・ヒヤリハットの研究」の活動を行う。

2011年度 役員体制

代 表	武笠真次 (わらび山の会)	県連理事長
隊 長	徳重博文 (大宮労山)	県連副理事長
副 隊 長	柴山利幸 (バル・ブランチ)	
顧 問	井芹昌二 (岩つばめ)	全国副理事長
県連ブロック責任者		
南部	尾手利雪 (三郷山の会)	県連副理事長
西部	安田秋雄 (新座山の会)	
北部	浅見政人 (熊谷トレッキング同人)	
中部	小島 満 (大宮労山)	
事務局長	若木由和 (上福岡やまなみ)	県連理事
事 務 局	長谷川貞子 (大宮労山)	県連理事
〃	尾手利雪 (三郷山の会)	県連副理事長
〃	三宅宣之 (埜歩歩富士見山の会)	
会 計	谷脇京子 (大宮労山)	



柴山副隊長 「結束と機器」



徳重隊長 「講習及び訓練内容」



真剣な眼差しの隊員



柴山副隊長 「ロープワーク・結束と機器の説明」

救助隊 主催 「沢登り搬出技術 机上学習会」 報告

＊内容	参加者	場 所	期 日
沢での搬送訓練「斜張り」の学習と安全確認	13名	浦和コミュニティーセンター 7号室	7月11日 (月)

気仙沼から産直販売のお知らせ

手挽きとろろこんぶ



気仙沼市唐桑半島 が全国に販売している商品です。
 ・三陸海岸に自生する「天然昆布」を伝統の「手挽きで加工した逸品です。
 ・気仙沼の支援活動として「三陸産とろろこんぶ」を幹旋します。

販売価格 一袋 550円 で提供します。
 売上利益は、義捐金とします。
 追加販売にご協力をお願いします。

問合せ・注文等は：加納まで 048-201-2270

Eメール kanot01927@jcom.home.ne.jp

唐桑半島の豊かな海からの贈り物

加盟団体の紹介

中部ブロック 大宮勤労者山岳会

大宮労山（正式名称は大宮勤労者山岳会）は楽しく安全にをモットーに、「ハイキングからヒマラヤまで」を目指した総合山岳会で、一九六五年に創立し、創立四十六年を迎えます。

現在の会員数は約五十名で男女構成はほぼ半々、平均年齢は約六一歳です。

一九七三年頃からの山行記録で、主立った山行を上げてみると、七三年・夏山合宿（北岳・塩見岳、塩見岳・赤石岳）、七四年・夏山合宿（赤石岳・聖岳、茶臼岳・上河内岳）、冬山合宿（白毛門・笠ヶ岳・朝日岳）、七五年・春山合宿（剣岳・槍ヶ岳、守門岳）、夏山合宿（剣岳を中心に集中登山）、冬山合宿（鹿島槍ヶ岳）、その後も春山合宿、夏山合宿、冬山合宿が毎年続けられた。



お花見ハイクで

九六年までのそれぞれの記録を振り返ってみると、

春山では白毛門・仙ノ倉岳、八ヶ岳東面地獄谷、北鎌尾根・槍ヶ岳、剣岳・八ッ峰、稻含山、利尻岳、爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳・五竜岳・唐松岳、屋久島・宮之浦岳、鹿島槍ヶ岳・東尾根、白馬岳・主稜、奥只見・浅草岳などが行われた。



春山 会津・丸山岳で

夏山では剣岳集中登山、仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳、鋸岳・甲斐駒ヶ岳、戸台川本谷・甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山・甲斐駒ヶ岳、穂高岳・岳沢、剣岳・立山、飯豊連峰、鳥海山などが行われた。冬山では越後駒ヶ岳、会津駒ヶ岳、白峰三山、木曾駒ヶ岳・宝剣岳・檜尾山、赤石岳・荒川三山、武尊山、空木岳、仙丈ヶ岳など果敢に取り組まれました。ヒマラヤへの道は一九九一年

にインドヒマラヤトレッキング隊、翌年一九九二年にインドヒマラヤC B一四に登山隊を派遣した。

その後、各山岳同様に高齢化が進みハイキングなどの日帰り登山が増えつつありますが、五月の大型連休・七・一〇月は宿泊縦走登山にも多数の会員が参加している。また雪山、沢なども活発で総合型の会として確立されています。

ここ五年間の春山では知床岳、羊蹄山、羽後朝日岳、白山北尾根、会津丸山岳・会津駒ヶ岳、小窓尾根・剣岳などが行われた。夏山は各会員が独自に長期山行に出かけています。冬山・雪山では棧敷山、遠見尾根、安達太良山、中ア・烏帽子岳、会津・観音岳、北ア・焼岳、仙丈ヶ岳・地藏尾根などが取り組まれました。沢の山行も毎年六月・一〇月後半まで積極的に取り組まれています。

また、昨年度の山行回数は二百回を超え参加者は約五百名近くになっています。公開ハイクも年四回実施され、新年、お花見、公開、クリスマスで一九九五年から続けています。

会の平均年齢高齢化防止と会員数を増やしていく為や、市民への情報発信基地としてHPを二〇〇六年に開設、一定の成果を上げています。

定例会は大宮の生涯学習センターで毎月二回、第一例会（第一火曜日）の学習会、第二例会（第三木曜日）の山行報告・山

行計画などを行っています。見学歓迎します。

岩崎照幸



冬山 北アルプス・白馬岳～五竜岳



春山 北海道・知床連峰

【加盟団体の夏山情報】

* 塾歩歩富士見山の会

- 7/22～25 東北・朝日連峰
- 7/22～25 北ア・白馬岳～鍵ヶ岳
- 7/30～8/5 南ア・兎岳
- 8/ 6～7 南ア・鳳凰三山
- 9/ 3～4 北八ヶ岳・北横岳
- 9/18～19 秩父・瑞牆山

* 秩父アルペン

- 8/ 5～ 7 中ア・木曾駒～空木岳
- 8/28 信越・八間山、野反湖
- 9/17～18 南八ヶ岳縦走
- 9/26～27 南ア・早川尾根～アサヨ峰

* 飯能労山

- 8/ 1 富士山
- 8/ 4～6 尾瀬・燧ヶ岳
- 8/27～29 頸城・高妻山
- 9/17～18 那須・那須岳、三斗小屋
- 10/ 7～10 東北・岩木山～八甲田

* 熊谷トレッキング

- 7/ 5～18 インドヒマラヤトレッキング
- 7/16～17 北ア・朝日～雪倉岳
- 7/16～18 北ア・爺ヶ岳～針の木岳
- 7/25～30 北海道・幌尻岳～ニベソツ山
- 8/20～27 北ア・唐松岳集中

* 深谷こまくさ山の会

- 7/10 谷川岳
- 7/29～31 南ア・塩見岳
- 8/27 秩父・瑞牆山
- 9/18 塩原釈迦ヶ岳

* 三郷山の会

- 7/16～18 妙高～火打山
- 7/16～17 北ア・朝日～雪倉岳
- 8/21 奥多摩・水根沢
- 8/28 信州・根子岳
- 8/25～28 北ア・奥穂高岳

* あすなろ

- 7/19～20 北ア・乗鞍岳、焼岳
- 8/16～18 東北・田沢湖～鳥海山麓

* 大宮労山

- 7/16～17 北ア・北鎌尾根
- 7/16～17 中津川・魚野川源流
- 7/23～25 北ア・西穂～奥穂高岳
- 7/23～24 秩父・大洞川
- 7/28～8/5 北ア・立山～槍ヶ岳縦走
- 8/4～7 北ア・金木戸川打込谷
- 8/5～8 中ア・木曾駒～空木岳
- 8/13～15 信越・鹿沢連峰
- 8/27～28 頸城・妙高～火打岳

* わらび山の会

- 7/23、24 上越・谷川岳、日光白根山
- 8/ 6～7 東北・岩手山
- 8/ 5～16 アフリカキリマンジェロ
- 8/12～13 北ア・剣岳早月尾根
- 8/21 奥武蔵・白谷沢

投稿 山行記録

カナダ スカツミッシュユククライミング

日和田アルパインクラブ 西津 雅子

期日 6月30日〜7月10日

1泊11日

(6月30日)

17時10分 定刻通り、エアカナダは、成田からバンクーバーへ離陸。一緒に行く予定の相模アルパインのWさんが、怪我で不参加となり、一人で出発。同日、9時50分バンクーバー空港着。手続きが済んで、出口を出ると、直ぐに、ウイスラー行きのパシフィックコーチバスのチケット売り場があった。

15時半にスカツミッシュ・アドベンチャーセンターに到着。歩いて10分、今夜の宿 Inn on the Waterに着く。

(7月1日)

本日はカナダデー、街はお祭り気分が盛り上がっている。メイン通りの街路灯に花が飾られ美しい。後発のSさん達、Kさん夫妻4人が夕方、到着。今回、行く時期が重なるとの情報で、無理にお相手をお願いした。出

発時、飛行機の電気系統の故障で4時間到着が遅れたとか。

(7月2日)

スカツミッシュの裏庭、Smoke Bluff の Burger & Fries p.5-4 から5-7のクラックを楽しむ。まだ、緊張で動きは固い。傾斜は無いが、最後がスラブでプロテクションが取れないので怖い。全て、左から廻り、登って回収。岩場への道が整備され、きれいな標識が完備されている。

(7月3日)

昨日、夜より雨。朝はまだ雨が残っていたのでレスト。スケッチで過ごす。

午後より、皆で新しいフェイス・ボルトルート Cheakamus Canyon-Rogues Galleryを下見に行く。Macより29.5キロ。右側、4台位のあまり広くない砂利スペースが駐車場。岩場は直ぐ近くでわかりやすい。うす被りのルートを2人が登っていた。

(7月4日)

Smoke Bluff の Octopus く。人気の岩場。平日だが、3組が入っており、入れ替わりに数組の様子を見ていた。5mの25m以上のク



ラックがの本。それぞれに個性的なルート。苦手のワイドでテンション。カサブランカ規模で優しいルートが並んでいるのが、すばらしい。

プロテクションの練習にもってこい。左のクラックが魅力的に見えたのだが、一本間違えて、終了点に降りるはめになった。Lakeでは、半裸で水遊びをしている。Zoeで、ボルトの28メートル10aは快適に登る。

(7月7日)



3日登ったので、本日はレスト。雲が多く山は見えない。スケッチと買い物街歩き。夕方より本降りの雨。

(7月5日)

本日は、ボルトルート。先日、下見した Cheakamus Canyon-Rogues Gallery。

まず左側の10a 2本。25メートル以上あり、長いので結構疲れた。続いて右側10bの方がルートとしては、素直。隣の11aはSさん、Kさんはオンサイト。私はテンションの嵐。力の差を感じる。ここはうす被りで雨でも登れる11aがある。

(7月6日)

本日は疲れ気のため、休日は、一番人気となるMurrin Park。宿から、バンクーバー方向に戻りSharronの滝を通り過ぎた右側に大きな駐車場。直ぐ脇のBog Wallで5-8と5-9クラックに登った後、Sugar Loaf 日和田にボルトが無い状態か。5-46が数本並んでいる。階段状で

(7月8日)

朝まで雨だったので、被り系の Cheakamus Canyon の Forgotten Wall。Mac交差点よりウイスラー方向20キロ。赤い陸橋を通り、2つ目を右方向山道へ。広めの駐車場には、既に10台以上の車。その割りにクライマーが見えないが、それぞれに散っているよう。10台ガバルートを2本登ったあと、Smoke Bluff に戻り駐車場脇のCrag X。ボルトの5-9は、25メートル以上、ボルトたった4本で怖かった。隣のクラック5-9は快適。駐車場から大変目立ち、すっきり、見栄えも良い。その後、近くの Mosquito Areaで Mosquito5-8を登り、10bはトップロープ。

(7月9日)

カナダ クライミング最終日。

Smoke Bluff の Pixie Cornerへ。クラック5-7と5-8を登った後、10bを2本トップロープ。場所をPenney Rainに移し、5星のPenny Rain5-9は30メートルの長さで、天に向かつて割れている。オンサイトは譲り、自分のギアを確認しつつやと登ることが出来た。終了点はなく、リードをフォローで登る必要。登らしてくれたSさんに感謝。

(7月10日)

朝、一番のバスでバンクーバー空港へ。10日間、あつという間に過ぎた。二日東京に着。海外のクライミングというと、普通、大変構えてしましますが、カナダ・スカツミッシュはグレードの幅も広く、

ゆったり楽しめました。気候も良く、観光地でない田舎町で自炊しながら暮らしました。今回の旅で、登ることができたのは、労山の役員でもあるSさんが気持ち良く同行をOKしてくださったからです。重ねて御礼申し上げます。



2011 伊豆長岡・おとし荘

第18回

全国ハイキング交流集会

★日時 9月17日(土)13:00~18日(日)12:00

★会場 伊豆長岡温泉おとし荘

★参加費 13,000円 (1泊2食付) 日帰り参加は1日1000円

★募集 100名

○交通 東海道新幹線・三島駅乗り換え

伊豆箱根鉄道「伊豆長岡」駅より徒歩15分

※伊豆長岡駅から12:10と12:35の2回、送迎バスを出します。

車で来られる方は東名高速・沼津ICより40分

★オプション・ハイキング

集会後、希望者に城山〜発端丈山の3時間ハイ

キングを行ないます(参加費1000円を予定)

主催:日本勤労者山岳連盟

(ハイキング委員会)

主管:静岡県勤労者山岳連盟



理事会報告

第三回理事会が六月二十九日(水)県連事務所で十一名の出席で行われました。

*全国連盟活動

・6/4~5 宮城石巻地区支援 埼玉8人(新座5 所沢1 大宮2)千葉・群馬・兵庫から応援総勢30人参加。

・6/27 他 支援取組み(新座 足ふきマット30枚、雑巾60枚、登山用品他、山なみ雑巾100枚)

*県連全体活動

【事務局】

・関ブロック役員交流集会(9/24~25) 関東ブロック自然交流集会 10/15・16 (主管:埼玉県連) 会場の予約

・第一回評議会会場予約 【財政】総会資料の決算増減の数字訂正。前期連盟費納入状況(2団体未納)

【機関紙】172号総会報告中心に編集、印刷予定7/13 【組織】活動実態7月中に集計。 【HP】委員から記事掲載依頼が増えた。

【女性】

・支援Tシャツ作成販売予定、他 雑巾や夏物衣類等の支援

・7/5日[火]19時~女性委員会(北朝霞駅ジョンナサン) 【ハイキング】7/27委員会 【自然保護】10/15~16 関東ブロック自然保護集会(埼玉県 主管)の準備

【救助隊】6/27救助隊総会 7/11沢搬出机上、7/24実技

【登山学校】6/27運営委員会 第一回講座「計画から下山まで」6/11(机上):28名、6/12(大平山):27名

・第二回講座「登山と運動生理」7/2~3

【岩ネットワーク】

・新担当として年間スケジュールを策定する。 【ブロック活動】 南部:6/23、7/21ブロック会議 クリーンハイック総括と交流 HC計画

北部:事務局 小暮(秩父)

議題

①東北地方太平洋沖地震 支援体制について! 総会補足

・関東ブロックの支援活動報告(機関紙参照) ・女性委員会が支援Tシャツを販売、他の支援も。

・物産品(こんぶ)販売協力! 総会で宣伝、注文数把握は? ・今後の支援体制:参加者の取りまとめ等どうするか?各ブロックの意見を求め、マニュアルを作成したい。

②県連総会について

・総会報告と質疑提案事項確認 *個人会員制について 埼玉労働山としては全国連盟の動向見て、当面個人会員制は行わない。 理事会採択

*震災支援活動と方針(前述) 県連として、全国・関東ブロック活動に積極的に協力し、支援体制の強化と参加者や活動把握の為の担当者を置く。

③役員体制について

理事長:武笠真次、 副理事長:徳重博文、矢崎辰雄、 尾手利雪

理事:嶋田好枝(財政)、佐藤久子(共・組織)、木村哲也(事務局・海外・山キヤ)

高橋利男(機関誌)、若木由和(救助隊)、小松勝浩(HC)、加納隆夫(自然保護) 澤藤俊昭(機関誌・HC)、長谷川貞子(女性委員会)、久保典子(女性委員会副)、天野二郎(岩ネット)、松本千代子(HC・岩ネット)

監事:杉江勲、廣岡恵美子

④その他

*今後の会議予定 9/11(日) 遭難防止安全教育担当者会議 第一回評議会

*クリーンハイック 南部:奥武蔵・日和田山 台風接近雨の中実施。19名 西・北・中部ブロック中止 *次回理事会7月27日(水) 以上 天野



2011年度 第1回評議会開催のお知らせ

残暑お見舞い申し上げます。

下記のとおり評議会を開催いたします。各加盟団体の評議員の皆様には万障繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願いいたします。

なお、やむをえず欠席される場合は、代理の方にご出席いただくようご配慮お願い致します。出席者の氏名を、9月9日(金)までに懇親会参加の可否も含め、事務局長へ郵送・電子メール・FAXでご回答下さい。

記

日時:9月11日(日)午後1時30分開会 (午後1時~受付)

場所:高鼻コミュニティセンター

さいたま市大宮区高鼻町2-292-1 TEL048-644-3360

・東武野田線 北大宮、大宮公園駅からそれぞれ徒歩10分

・JR大宮駅東口より徒歩20分

議題

1. 埼玉県総会方針追記について

(1)震災支援活動 (2)個人会員制

2. 「個人会員制度」導入と組織強化の具体的提案・第2次案

(2011年07月27日全国連盟理事会)について論議

*全国連盟・登山時報への意見集約

3. 震災支援の内容の確認と周知

県連、ブロック、各会、現地支援、支援Tシャツ、支援金、支援物資

第12回 遭難防止・安全教育担当者会議

9/11(日) AM9:30~高鼻コミュニティセンター

議題:ナマステメールより事故についてヒヤリハット紹介 新特別基金について、その他

2011年

関東ブロック自然保護交流集会

期日 10月15日(土)~16日(日)

場所 秩父・長瀨荘

主催 関東ブロック協議会

主管 埼玉県勤労者山岳連盟

*詳細は後日お知らせします。

埼玉県連が主管しますので、自然保護について関心のある方、ならび各加盟団体から1名位の参加協力をお願いします。現地観察会、ハイキングあり。

【編集後記】暑い夏の季節からもう山々は初秋の気配が濃厚です。

青い空にはアキアカネが飛び交い、銀穂のススキが伸びだした草原には、リンドウやアキノキリンソウ、マツムシソウ等といった秋の花々が風に揺れています。

7月号の機関誌の発行が、PCの故障等もあり、大幅に遅れた事本当に申し訳ありませんでした。寄稿していただいた原稿は9月号として編集し発行したいと思います。

今、再就職の為の講習やら面接やらで、ハローワーク通いをしていますが、本当に山に行きながら、定年退職後の職探しは大変です。(澤)